

一 般 質 問

発言者 太 田 安由美

発 言 の 要 旨 (その1)
1 災害発生時の対応について
(1) レベル4危険警報発表下での、さぬき高松まつりの開催
① 8月12日、本市における避難情報がレベル3にとどまった理由
② 開催についてどのような検討・協議が行われたのか、開催判断に至った経緯
③ 避難の呼びかけと祭りへの集客について、行政としてのメッセージに整合性は あると考えているのか。
④ 万一の事態が発生した場合の対応を、どのように考えていたのか。
⑤ 今後、気象に関する警戒情報が発表された際に、さぬき高松まつりについて、 開催や中止を判断するための基準を設ける考え
⑥ 今回の広報が適切であったと考えているのか。
(2) 個別避難計画を実効性のあるものに
① 本市における、避難行動要支援者名簿の登録対象者数と名簿登録者数、及び個 別避難計画作成者数。また、個別避難計画作成者数が、名簿登録対象者数に占め る割合、及び名簿登録者数に占める割合
② 支援者が見つからない方を取り残さないための仕組みを、どのように考えてい るのか。
③ 個別避難計画を、どのくらいの頻度で更新しているのか。
④ 個別避難計画の作成を、福祉専門職へ委託する事業を実施する考え
⑤ 実効性のある個別避難計画となるよう、どのように取り組むのか。
2 道路のバリアフリーについて
(1) 番町交差点のエレベーターについて、介助者と大型車椅子が同乗できるサイズに 再整備する考え
(2) 生活道路におけるバリアフリー化について、どのような課題認識を持っているの か。
(3) 市民から寄せられる道路の段差や危険箇所などの相談について、どのように把握 し、優先順位をつけて改善しているのか。

発 言 の 要 旨 (その2)

(4) 障害当事者や高齢者などと一緒に道路を点検し、改善につなげる当事者参加型の道路バリアフリーを進める考え

3 ソーシャルワーカーのメンタルヘルスについて

(1) 福祉・相談支援の現場で働く職員の業務量や相談ケースの複雑化について、どの
 ように認識しているのか。

(2) 休職や離職の状況、ストレスチェックなどから、相談支援職特有の課題を把握しているのか。

(3) スーパービジョンの仕組みは、現在どのように行われているのか。

(4) 市が委託する事業などに従事する相談支援職についても、支援者のメンタルヘルスを守るという視点を持っているのか。

(5) 困難を抱える市民を支える職員が、1人で悩みを抱え込まずに安心して働き続けられるよう、市として職場環境の充実に取り組む考え